

封筒：消印 10.2.22

大阪市外、阪急沿線、岡町、寶塚一丁目

宇井 縫蔵様ヌヒ

和歌山縣田辺町中屋敷町三六

昭和十年二月廿二日早朝 南方熊楠再拝

昭和十年二月廿二日 早朝

宇井縫蔵様

南方熊楠再拝

拝啓 元日に新禧御葉書忝く拝受、千万御厚礼申述候。小生昨年

十二月廿四日の夜和歌山へ急行、廿五日藤岡縣知事に十四五年めで會ひ

同氏夫婦より官邸で厚く饗応された迄はよかりしが、夜分帰途の列車中で悪性

の感冒にかかり、又指の骨痛み甚しくなり筆を採ること甚だ気味悪く、大に

失礼して今日に至り申候段、不悪御有怨願上候。神島の草木は北島樫山二氏

に小生立會ひ調査候処、一百八十五種（顕花植物と羊歯及其類似物）有之

然し九月二十二日の大暴風の為め島は大半洗ひ去られ、チドメグサ<sup>2</sup> アフヒゴ

ケ<sup>3</sup>

態の微草すら影を留めず流し去られ、積年多く見受たる品が全く失せ

---

<sup>1</sup> 室戸台風のこと。岸本注：昭和9年9月21日早朝5時に高知県室戸岬に上陸し（911.6hPa）、8時に大阪に再上陸して大きな被害をもたらした。9月22日付の新聞報道のイメージが強かったのかもしれない。熊楠は二月18日になってようやく神島に行っています。

<sup>2</sup> 血止草。Hydrocotyle sibthorpioides、ウコギ科チドメグサ属に属する被子植物。傷口にすり込むと止血効果がある。繁殖力旺盛。

<sup>3</sup> 葵苔。アオイゴケ属に属す。

たるも少なからざりし故に、ここ五六年かかりてつづけて調査せねば十全のことは分らず

と存候。又ミヤコグサ<sup>ヲ</sup>、ヒキヨモギ<sup>ノ</sup>などたしかに年来此島に多く生えありしものも、

季節がおくれたると、右に申す大風波に洗はれたるとにより全く見えざりしことに候。

当日少しも見えざりしが、小生は夏秋の際此島の沙濱に遊ぶ毎にサデクサ<sup>ヲ</sup>かマモノ

○ シリヌグヒ<sup>ノ</sup>様のものを毎々見受候ひし、定て貴殿も御見受けありしことと奉察候。

小生は此二者の区別を十分に知らず。一体此島にある右様のものはどちらに候や、御知

○ せ奉願上候。又同じ沙濱で毎々ウナギツカミ<sup>ノ</sup>。如き蓼科のものが這ひおるを毎度（秋）見たり。これは何に御候や、奉伺上候。○ヤマゴボウ<sup>ノ</sup>は島頂の小祠の

後に僅々五六本のこりありし。以前禁に多かりし所々はみな洗ひ去られて少しも

<sup>4</sup> 学名 *Lotus japonicas* ヤマ科の多年草。

<sup>5</sup> 学名 *Siphonostegia chinensis* ハマウツボ科ヒキヨモギ属の半寄生植物。

<sup>6</sup> タデ科イヌタデ属で水辺にはえる一年草。京都府では準絶滅危惧種。

<sup>7</sup> 継子の尻拭い。この草の棘だらけの茎や葉から、憎い継子の尻をこの草で拭くという想像から来ている。韓国では「嫁の尻拭き草」と呼ばれる。

<sup>8</sup> タデ科イヌタデ属の一年草。アキノウナギツカミ、アキノウナギヅル。

<sup>9</sup> ヤマゴボウ科ヤマゴボウ属の多年生草本。

残らず。此ヤマゴボウはたしかに【**図**】シキミ<sup>10</sup>の実の如くなりし故【**抹消**】

ヤマゴボウと存候も、総状花序が果して側生なりしか記憶不致候。 貴著

紀州植物誌にヤマゴボウなし。小生は那智の陰陽の瀧<sup>11</sup>の奥にてとりしことあり、  
標本も

持ちおり。又有田郡津木といふ山村にても野生を見しことあるも、ヤマゴボウか  
マルミかたし

かなことを知らず、ただ実は右の図の如くなしことだけ知り居り候。其標品今も  
此宅にある故、しらべて

後ち可申上候。 ○ヒチノキ（勝浦辺で申す、乃ちタイミンタチバナ<sup>12</sup>）神島に  
多かりし。

これは紀州植物誌には脱漏<sup>13</sup>の由北島氏話され候により全篇通覧せしに、果して  
脱漏也。

再板の節御加え有之度候。 ○前日申上たるオホマンレウは小生北島氏と注意  
して

見たるに、その花序が左図の如し。通常【**図** 傘形】拙宅などにあるマンレウ<sup>14</sup>  
と全たく

花序の眞 ちがひ候。（イロ）（ハニ）の距離が一尺又それ以上に及ぶ

---

<sup>10</sup> 檜。墓に供える。

<sup>11</sup> 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山。落差約12m。那智48滝の一つ。

<sup>12</sup> ヤブコウジ科の低木。

<sup>13</sup> 『紀州植物誌』昭和4年10月10日発行の索引にタイミンタチバナなし。別名のヒチ  
ノキ、ソゲキもなし。

<sup>14</sup> 万両。ヤブコウジ科ヤブコウジ属の常緑低木。千両と並んで縁起の良い木とされる。

中にある 【図】 もの多く、数寸のものはなし。此事誰も言しものなき様なり。  
もののみ 貴殿の御参考迄申上候。小生記臆する所ろ高山寺稻成社  
傘形を 林等に野生の常のマンレウに図の如き花序を見たことなし。  
なさず

四月二十六日ここまで